



## 2023年 札幌神学校入学式礼拝



2023年4月11日(火)、札幌プレミアホテルのコンベンションホールで、汝矣島純福音教会の担任牧師であり、札幌神学校の学校長である、イ・ヨンファン牧師を講師としてお招きし、札幌神学校入学式礼拝をお捧げしました。(詳細は次頁を参照)

### 目次

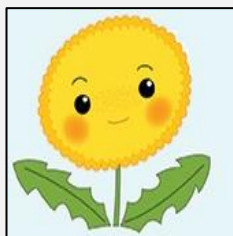
- P2 : 札幌聖殿聖霊待望会 & 札幌神学校入学式礼拝
- P3 : イ・ヨンファン牧師 純福音東京教会 祝福聖会
- P3 : キム・ジャンファン牧師 祝福聖会
- P4 : 担任牧師コラム「信仰の貯蓄」
- P4 : DCEM世界宣教「チョー・ヨンギ先生追悼礼拝」

## お知らせ



### 札幌神学校 第3期生(2024年4月入学生)の募集開始

日本宣教の最前線に立ち、献身する宣教師を目指す神学生を募集します。日本人、および日本在住の外国人の方についても若干名募集します。グッドピープル宣教会の奨学金制度もあります。関心のある方は、教区長までお問い合わせください。ホームページ(<https://sapporobible.college>) =>



### たんぽぽ 子ども食堂・文化教室 Open

5/5(祝・こどもの日)12:30~、第1回目のたんぽぽ 子ども食堂・文化教室が純福音東京教会にて開始されます。対象は小中学生です。参加希望、または関心のある方は、教区長までお問合せください。※ 同日の午前11:00からは祝福聖会も開かれます。また、たんぽぽ子ども食堂・文化教室、しろたんぽぽ野外食堂では、奉仕者を募集しています。



### 純福音東京教会 家族新聞 Web版 を公開

純福音東京教会の活動をより幅広く世に現わしていくため、純福音家族新聞 Web版を公開しました。韓国語・日本語ページがあります。Web版で教会の動きをご確認頂くと共に、宣教活動にもご活用ください。純福音東京教会 家族新聞 Web版 ホームページ(<https://fgtc.news>) =>





## 札幌神学校 入学式礼拝

2023年 4月 11日

## イ・ヨンフン牧師・聖霊待望会 4.10(月)

イエスは彼らに近づいてきて言われた、「わたしは、天においても地においても、いっさいの権威を授けられた。それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである  
— マタイの福音書 28:18-20 —

4月10日(月)、純福音東京教会札幌聖殿にて、汝矣島純福音教会の担任牧師のイ・ヨンフン牧師が導く聖霊待望会が行われました。

イ・ヨンフン牧師は、「イエス様の地上命令(マタイ28:18-20)」を主題としてメッセージを取り次ぎました。

「私たちに主から与えられた最後の地上命令は、宣教です。宣教は、クリスチャンの存在目的でありながら、教会の存在目的です。



故チョー・ヨンギ牧師は40年間、日本一千万救霊に力を入れていました。そして、これからはこの実を刈り取る時です。私達が受け継いで、主が来られる日まで福音を宣べ伝えていきましょう。」と伝え、聖徒達の日本福音化のための献身を励ましました。

## チェ・ヨンウ牧師 早天祈禱会 4.11(火)

わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。それは真理の御霊である。— 中略 — わたしを愛する者は、わたしの父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し、その人にわたし自身をあらわすであろう。  
— ヨハネの福音書 14:16-21 —

4月11日(火)、チェ・ヨンウ牧師(汝矣島純福音新アンサン教会の担任牧師)が「聖霊と共に歩む人生(ヨハネ14:16-21)」という主題で早天祈禱会の説教を取り次ぎました。

「御言葉を讀み、たくさん祈り、聖霊様の御声に耳を傾けなければなりません。そうすれば、聖霊様の声を聞くことができます。そして、聖霊様が何かを仰った時は、その御言葉に従順し、実践しなければなりません。自分の意地ばかり張るのではなく、いつも聖霊に従って生きなければなりません。」と伝え、メッセージの後は聖徒の祈りを導きました。



## 札幌神学校入学式礼拝 4.11(火)

しかし、わたしは自分の行程を走り終え、主イエスから賜わった、神のめぐみの福音をあかす任務を果たし得さえしたら、このいのちは自分にとって、少しも惜しいとは思わない — 使徒行伝 20:24 —

札幌神学校の学校長であるイ・ヨンフン牧師は「聖霊の人(使徒行伝20:24)」という主題で御言葉を取り次ぎました。

「神様の人として用いられるためには、聖霊に満たされなければなりません。この世で生きる時、最も大切なことは聖霊に満たされることです。」と伝えました。併せて、御言葉と祈りの重要性についても強調し、「初代教会の聖徒達は、聖霊を待ち望みながら頑張って祈りました。御言葉の黙想、祈りへ尽力により、神様の働きによって素晴らしいバイバルが必ず起こります。」と伝えました。

札幌神学校理事長である志垣重政牧師は、「2025年から100個の教会開拓を目指しています。専門的で即戦力となる宣教師を養成するために設立された札幌神学校が、日本列島を聖霊の火で灯す霊的震源地となることを期待します。」と神学生への期待を述べました。



その後、チョー・ミンジェ国民日報会長から祝辞、チェ・ヨンウ牧師(札幌神学校の名誉顧問)とコ・ミョンジン牧師(水原中央バプテスト教会担任牧師)から激励の辞が述べられ、パク・ヒギョン北海道宣教会長により、札幌神学校の開校過程を紹介する時間が持たれました。最後に、ヤン・ヒョングン牧師(フルゴスペルバイブルカレッジの学監)による歓迎の辞が伝えられて、入学式礼拝を終えました。

この日の入学式には、純福音東京教会と札幌聖殿の聖徒に加え、汝矣島純福音教会やその支教会の牧師や長老、純福音宣教連合会員など、たくさんの方が参席し、入学生を共に祝いました。

これから日本福音化のために宣教師として用いられる札幌神学生1、2期生のために、たくさんの祈りと支援をお願いいたします。



イ・ヨンフン牧師  
(札幌新学校  
名誉顧問)



チョー・ミンジェ  
会長  
(国民日報)



チェ・ヨンウ牧師  
(札幌新学校  
名誉顧問)



コ・ミョンジン牧師  
(水原中央バプテ  
スト教会担任牧師)



# イ・ヨンファン牧師 祝福聖会 4.12(水)

愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、わたしは祈っている。 — ヨハネの第三の手紙 1:2 —

4月12日(水)、純福音東京教会は、汝矣島純福音教会の担任牧師であるイ・ヨンファン牧師を講師としてお招きし、祝福聖会を開催しました。この祝福聖会は、平日であったのにも関わらず、5階聖殿が埋まり、大聖殿の階段にも聖徒が座るほど、多くの聖徒が参加し、また、汝矣島純福音教会に同時配信されました。

イ・ヨンファン牧師は、「三拍子の祝福の恵み」という主題でメッセージを語り、「三拍子の祝福」について、「イエス様の十字架は、純福音信仰の基礎でありながらすべてです。イエス様が私達のために死なれたことによって、魂の死と環境の呪い、病気と死という三重の呪いが消え去りました。そして、魂が恵まれ、全てのことに恵まれ、すこやかになる神様の三拍子の祝福の恵みが臨まれました。」と、聖書の御言葉から分かり易く解き明かし、恵みの御言葉を述べ伝えました。



そして、「祝福を受けるためには、神様との関係を回復しなければなりません。神様の御言葉に耳を傾けて、その御言葉に従順する人生を生きなければなりません。御言葉を掴んで信じて祈る時、神様が働かれ、奇跡が起きます。いつも感謝し、肯定的な人には、魂が恵まれ、全てがうまくいく祝福と健康の祝福が臨まれます。」と伝えました。そして、「イエス様が十字架で成し遂げられた三拍子の祝福が溢れますように」と、純福音東京教会の聖徒を祝福しました。

2000年から2002年まで純福音東京教会の担任牧師として働いたイ・ヨンファン牧師は、今回の聖会で、「この聖殿が聖徒達の涙と祈りと汗で建てられたことを思い起こし、涙が出てきました。全てが主の恵みです。」と告白しました。

# キム・ジャンファン牧師 祝福聖会 3.21(火)

そこで、彼の勧めの言葉を受け入れた者たちは、バプテスマを受けたが、— 中略 — 家ではパンをさき、よろこびと、まごころをもって、食事を共にし、神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである。 — 使徒行伝 2:41-47 —

3月21日(火)11時、純福音東京教会はキム・ジャンファン牧師を講師としてお招きし、祝福聖会を開きました。故チョー・ヨンギ牧師の親友であるキム・ジャンファン牧師は、水原(スウォン)中央バプテスト教会の元老牧師で、現在、極東(グッドン)放送-韓国のキリスト教宣教放送局-の理事長、韓国YFC名誉理事長を務めています。そして、2000年には、1億人の聖徒達を束ねるバプテスト世界連盟総会長(BWA)に、東洋人として初めて選出されました。

キム・ジャンファン牧師は、メッセージに入る前に、韓国から共にお越しいただいた2名の同行者を紹介し、純福音東京教会のために特別に準備した賛美を韓国語と日本語で披露しました。

賛美の後、キム・ジャンファン牧師は、「理想的な教会(使徒行伝2:41-47)」という主題で、御言葉を述べ伝え、理想的な教会のポイントを次の4点であることを示し、今回は主に「①成長する教会(Growing Church)」を中心に、解説しました。

- ① 成長する教会(Growing Church)
- ② 宣教する教会(Going Church)
- ③ 輝く教会(Glowing Church)
- ④ 涙のある教会(Groaning Church)



まず最初に、キム・ジャンファン牧師は、故チョー・ヨンギ牧師との会話を振り返り、汝矣島純福音教会が世界最大の教会に成長を遂げた1つの理由は祈りにあることを述べました。

故チョー・ヨンギ牧師は毎日5時間祈っていたことが成長の原動力であったことを証をし、「祈りには力があります。祈る教会となりますように。」と純福音東京教会を祝福しました。

加えて、教会に出て御言葉を聞くこと、教会の中で愛を分かち合い、実践することが教会成長に不可欠であることを解き明かしました。

キム・ジャンファン牧師は、様々な例話をういて、祈りと御言葉、愛の分かち合いの重要性を伝え、純福音東京教会には、理想的な教会に成長していくビジョンと希望があることを宣言しました。



# 志垣重政担任牧師コラム

## 『 信仰の貯蓄 』

Faith



わたしの神は、ご自身の影響の富の中から、あなたがたのいっさいの必要を、キリスト・イエスにあって満たして下さるであろう。  
— ピリピ人への手紙 4:19 —

先進国ほど、貯蓄率が高いのは言うまでもありませんが、使った後で残りを貯蓄しようと思っても、まず無理でしょう。蓄えがあれば、いざという時に困らないのと同様、信仰にも貯蓄が必要であることを悟らなければなりません。

それでは、どこに貯蓄するのでしょうか。「あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝を蓄えてはならない。むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝を蓄えなさい。あなたの宝のあるところには、心もあるからである。(マタイ6:19~21)」とあるように、天に蓄えるのです。だとすると、信仰の貯蓄のためには何をすればよいのでしょうか。信仰を貯蓄する具体的な方法をお話します。

まずは、平素に信仰貯蓄をした人々を見てみましょう。タビタ(ドルカス)は、イエス様を深く愛し、戒めを守り、良い働き・施しをした女性で、ヨッパで彼女のことを知らない人はいない程でした。しかし、彼女は思い病にかかり、死んでしまいます。彼女の援助を受けた寡婦たちは悲しみに暮れ、ロフトに遺体を安置して泣き叫びます。そこに神様の啓示を受けたペテロが到着し、皆をロフトから退かせた後、祈って「タビタよ、起きなさい」と命じたところ、彼女は何事もなかったように生き返りました。平素の信仰の蓄えにより蘇ったのです。

カイザリヤ地方のイタリア軍の百卒長、コルネリオも敬虔な信仰を持ち、できる限り良い施しをした人ですが、天使が現れ、ペテロを招くように啓示を受け、その通りにしたところ、そのメッセージに恵まれ、異邦人であるのに、聖霊のバプテスマを体験します。その姿を見た多くの人々が洗礼を受けたと使徒行伝の10章に記録されています。まさしく、平素の信仰の貯蓄によって起きた奇跡の一つであったことは言うまでもありません。

次に信仰を貯蓄する具体的な方法をお話します。

1. 主日を守ることは、最も大切な貯蓄です。
2. 天国に宝、物質を積む献金も大きな貯蓄です。
3. 祈りは、強力かつ確実な貯蓄であることは言うまでもありません。
4. 救済(施し)も立派な貯蓄です。
5. 敬虔な暮らしをすることも貯蓄の大きな力になります。
6. 聖徒をもてなすことは、大きな利回りの貯蓄と言っても差し支えないでしょう。
7. 霊魂を神様の元に導く伝道こそ、貯蓄の中でも最たるものと言うことができます。

マケドニアのピリピ教会において行われた信仰の貯蓄について、具体的に見てみましょう。

彼らはパウロの宣教を支えるために祈りの貯蓄をしました。祈りには、時空を超えることができる偉大な力があります。海外にいる家族のために祈ることもできますし、宣教旅行に出かけている牧師のために祈ることも可能です。祈ることによって、世界宣教に参加することができるのです。

また、彼らは献金を通して宣教を支えました。「わたしは、すべての物を受けてあり余るほどである。エパフロデトから、あなたがたの贈り物をいただいて、飽き足りている。それは、かんばしいかおりであり、神の喜んで受けて下さる供え物である。(ピリピ4:18)」。

信仰の貯蓄は芳しい香りになり、神様が喜んでくださいます。神様が喜ばれるのなら、その褒美が素晴らしいものになることは間違いないことです。信仰の貯蓄に励み、神様から30倍・60倍・100倍の恵みを受け、昼は雲の柱、夜は火の柱で守られ、勝利から勝利、栄光から栄光へと導かれますように、主の御名によって、お祈りいたします。

## DCEM世界宣教 シンガポール聖会「チョー・ヨンギ先生 追悼礼拝」

さて、信仰とは、望んでいる事から確信し、まだ見えない事実を確認することである。— 中略 — 信仰によって、アベルはカインよりもまさったいけにえを神にささげ、信仰によって義なる者と認められた。神が、彼の供え物をよしとされたからである。彼は死んだが、信仰によって今もなお語っている。 — ヘブル人への手紙 11:1-4 —



3月25・26日、志垣重政担任牧師が事務総長を務めるDCEMは、コン・ヒー牧師が担任牧師を務め、シンガポール最大の教会として知られるシティハーベストチャーチに訪れ、チョー・ヨンギ先生追悼礼拝をお捧げしました。

講師として招かれた汝矣島純福音教会のイ・ヨンファン担任牧師は、「信仰の能力」という主題でメッセージを取り次ぎ、主の中で偉大な夢を見て、切に祈る時、その夢は成し遂げられることを強調しました。

聖会では、DCEMが用意した映像を用いて、チョー・ヨンギ牧師が生前に残した功績を改めて振り返り、アジア全土に福音が述べ伝わって、再びリバイバルが起こることを信じ、切に祈りました。



コン・ヒー牧師  
(シティハーベスト  
チャーチ担任牧師)